

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

＜第43週＞流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した／その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-9

＜インフルエンザ＞

第43週の定点当たり報告数は24.62となり、前週の値よりも大きく増加した



病原体情報
P.10-14

インフルエンザウイルス 2009年5～10月／ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年



速報
P.15

2009/10シーズン初のインフルエンザウイルスAH3亜型分離－札幌市



海外感染症情報
P.16-17

パンデミック(H1N1)2009 短報: no.14－パンデミックワクチンの方針と戦略についてのWHO専門家らによるアドバイス



感染症の話
P.18

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(43週)
P.19-24



43週のデータ
P.25-37



発生動向総覧

<第43週コメント> 10月28日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核291例

3類感染症

コレラ3例

感染地域: フィリピン2例、インド1例

細菌性赤痢6例

感染地域: 千葉県1例、佐賀県1例、ネパール2例、ベトナム1例、ウズベキスタン1例

腸管出血性大腸菌感染症72例(有症者45例、うちHUS 3例)

感染地域: 国内72例

国内の多い感染地域: 栃木県7例、長崎県7例、福岡県6例、千葉県4例、東京都4例、岐阜県3例、愛知県3例、鹿児島県3例、宮城県2例、埼玉県2例、神奈川県2例、大阪府2例、兵庫県2例、岡山県2例、愛媛県2例

年齢群: 0歳(3例)、1歳(4例)、2歳(2例)、3歳(3例)、4歳(3例)、5歳(3例)、6歳(1例)、7歳(2例)、8歳(1例)、9歳(1例)、10代(9例)、20代(8例)、30代(10例)、40代(5例)、50代(6例)、60代(4例)、70代(4例)、80代(3例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(32例)、O26 VT1(12例)、O157 VT2(10例)、O157 VT不明(7例)、O121 VT2(3例)、O55 VT1(1例)、O91 VT1(1例)、O103 VT1(1例)、O157 VT1(1例)、その他・不明(4例)

累積報告数: 3,283例(有症者2,209例、うちHUS 70例、死亡3例)

感染地域: インド

腸チフス1例

4類感染症

オウム病1例

感染地域: 宮城県__感染源: 不明

つつが虫病5例

感染地域: 福島県4例、大分県1例

デング熱1例

感染地域: ベトナム

日本紅斑熱6例

感染地域: 広島県2例、鹿児島県2例、千葉県1例、熊本県1例

日本脳炎1例

年齢群: 1歳

感染地域: 高知県

マラリア1例

熱帯熱__感染地域: ウガンダ

レジオネラ症11例(肺炎型11例)

感染地域: 埼玉県2例、兵庫県2例(うち1例温泉)、千葉県1例、富山県1例、岐阜県1例(温泉)、大阪府1例、国内(都道府県不明)1例、イタリア1例、国外(渡航先不明)1例
年齢群: 40代(1例)、50代(1例)、60代(3例)、70代(5例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢2例(腸管アメーバ症2例)

感染地域: 国内(都道府県不明)2例
感染経路: 不明2例

ウイルス性肝炎3例

B型1例__感染経路: 性的接触(異性間)
C型1例__感染経路: 不明
サイトメガロウイルス1例__感染経路: 不明

急性脳炎12例

インフルエンザウイルスAH1pdm 10例__年齢群: 1歳(1例)、6歳(2例)、7歳(2例)、8歳(2例)、9歳(1例)、10代(2例)
病原体不明2例__年齢群: 1歳(1例)、7歳(1例、死亡)

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型3例

後天性免疫不全症候群8例(AIDS 1例、無症候6例、その他1例)

感染地域: 国内7例、米国1例
感染経路: 性的接触7例(異性間4例、同性間3例)、不明1例

ジアルジア症1例

感染地域: 国外(国不明)

梅毒4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、無症候2例)

破傷風1例

年齢群: 60代

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

遺伝子型: 不明2例__菌検出検体: 血液1例、尿1例

風しん1例(検査診断例)

感染地域: 神奈川県
年齢群: 35～39歳

麻しん4例〔麻しん(検査診断例3例)、修飾麻しん(検査診断例1例)〕

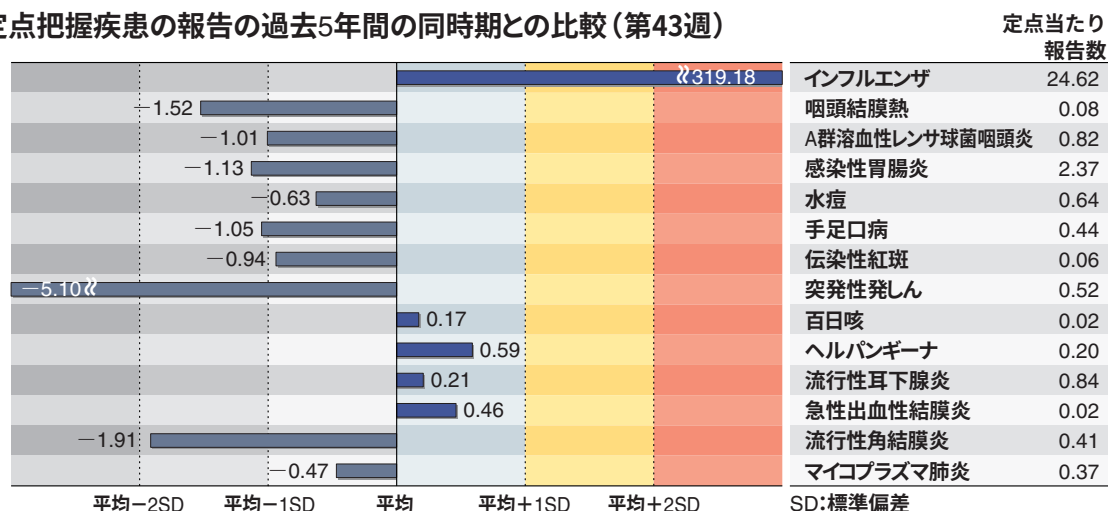
感染地域: 国内4例
国内の感染地域: 千葉県2例、広島県1例、国内(都道府県不明)1例
年齢群: 1歳(2例)、15～19歳(1例)、60代(1例)
累積報告数: 680例〔麻しん(検査診断例220例、臨床診断例283例)、修飾麻しん(検査診断例177例)〕

(補)他に2009年第42週までに診断されたものの報告遅れとして、デング熱2例(感染地域: インド2例)、日本紅斑熱4例(感染地域: 広島県4例)、急性脳炎14例〔インフルエンザウイルスAH1pdm 10例(4歳1例、5歳1例、6歳2例、7歳3例、9歳2例、10代1例)、インフルエンザウイルスA型1例(30代)、インフルエンザウイルス型不明1例(7歳)、病原体不明2例(7歳1例、60代1例)〕、後天性免疫不全症候群1例〔病型: AIDS. 感染地域: インドネシア. 感染経路: 性的接触(異性間). 死亡〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: *VanB*__菌検出検体: 便)、風しん1例(検査診断例. 感染地域: 国内(都道府県不明). 年齢群: 30～34歳)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第43週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第40週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では北海道(61.43)、愛知県(39.42)、福岡県(37.35)、兵庫県(33.51)、秋田県(32.15)、三重県(29.97)、神奈川県(29.36)、滋賀県(29.13)、岩手県(29.11)、埼玉県(28.23)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は563例と第40週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では青森県(0.40)、福岡県(0.28)、富山県(0.24)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山口県(2.44)、佐賀県(2.30)、山形県(1.87)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では熊本県(6.5)、富山県(5.3)、大分県(5.3)が多い。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では岩手県(1.58)、大分県(1.36)、島根県(1.35)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(4.97)、山形県(4.00)、岩手県(1.00)、島根県(1.00)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は第40週以降増加が続いている。都道府県別では青森県(0.38)、長野県(0.29)、山形県(0.17)、福島県(0.17)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(0.09)、沖縄県(0.09)、千葉県(0.08)、広島県(0.08)、宮崎県(0.08)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では高知県(1.37)、福井県(1.27)、山形県(0.67)が多い。

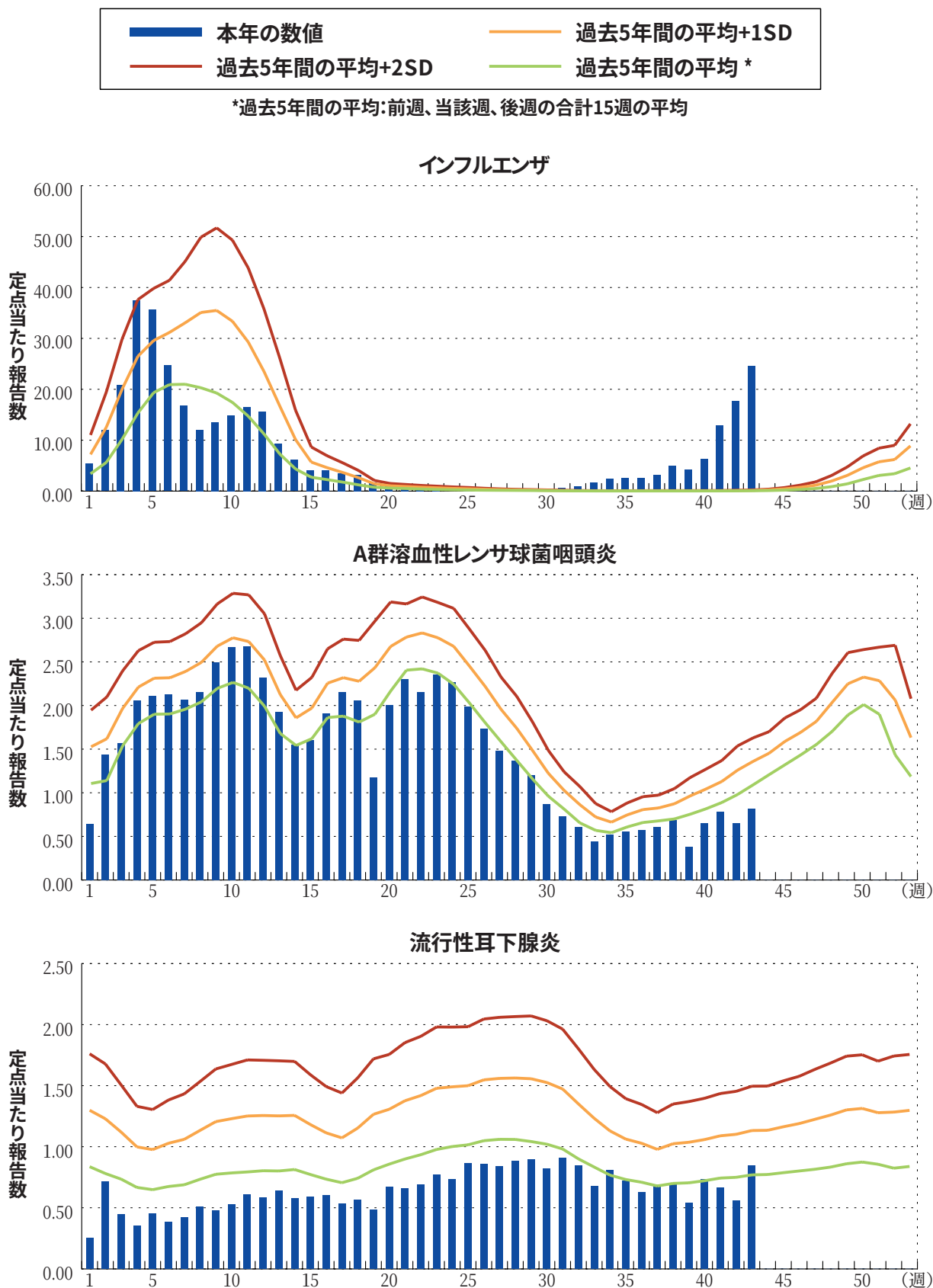
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(4.09)、山形県(3.13)、沖縄県(2.35)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では宮城県(1.92)、沖縄県(1.71)、青森県(1.50)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～43週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザ A/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、罹患者の大半は合併症なく治癒するといわれているが、肺炎やインフルエンザ脳症を併発して重症化する場合がある。特に肺炎は、急速に進行する重症のウイルス性肺炎を起こす場合が多く、喘息や慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患の存在が急激な悪化と関連しているといわれている(Clinical features of severe cases of pandemic influenza: Pandemic(H1N1) 2009 briefing note 13, Global Alert and Response, WHO, Oct. 16, 2009; http://www.who.int/csr/disease/swineflu/notes/h1n1_clinical_features_20091016/en/index.html)。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。

2009年第43週のインフルエンザの定点当たり報告数は24.62(報告数118,570)となり、前週の値(定点当たり報告数17.65)よりも大きく増加した(図1)。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約114万人であり、第28週以降これまでの累積の推計患者数は約431万人(95%信頼区間: 418.12万人～443.88万人)となった(図2)。都道府県別では北海道(61.43)、愛知県(39.42)、福岡県(37.35)、兵庫県(33.51)、秋田県(32.15)、三重県(29.97)、神奈川県(29.36)、滋賀県(29.13)、岩手県(29.11)、埼玉県(28.23)、大阪府(27.83)、東京都(25.24)の順となっており、全ての都道府県で定点当たり報告数の増加が認められた。また、定点当たり報告数は、42都道府県で10.00を、うち21都道府県で20.00を上回っており、全国規模で本格的な流行となってきた(図3)。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999～2009年第43週)

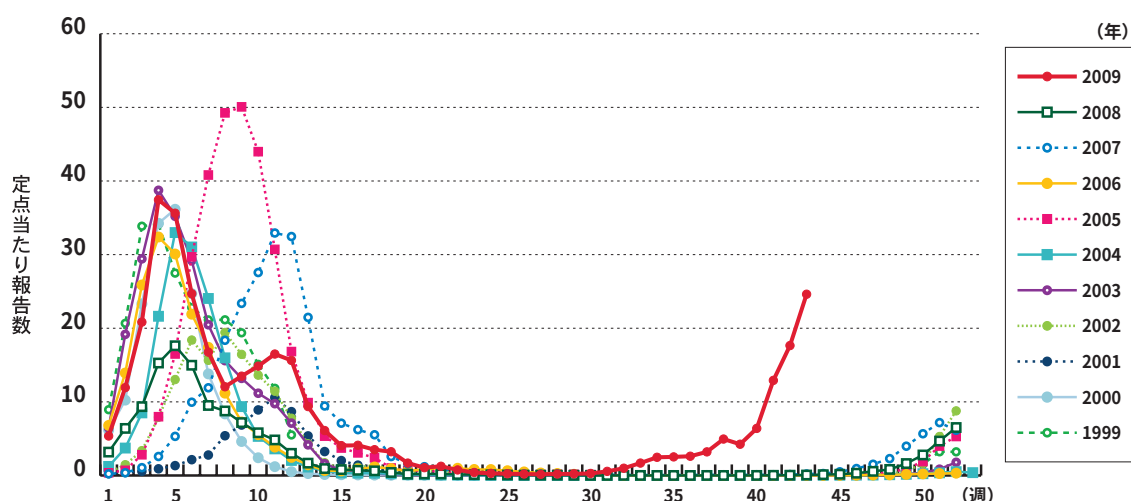


図2. インフルエンザ推計受診者数の推移(2009年第28～43週)

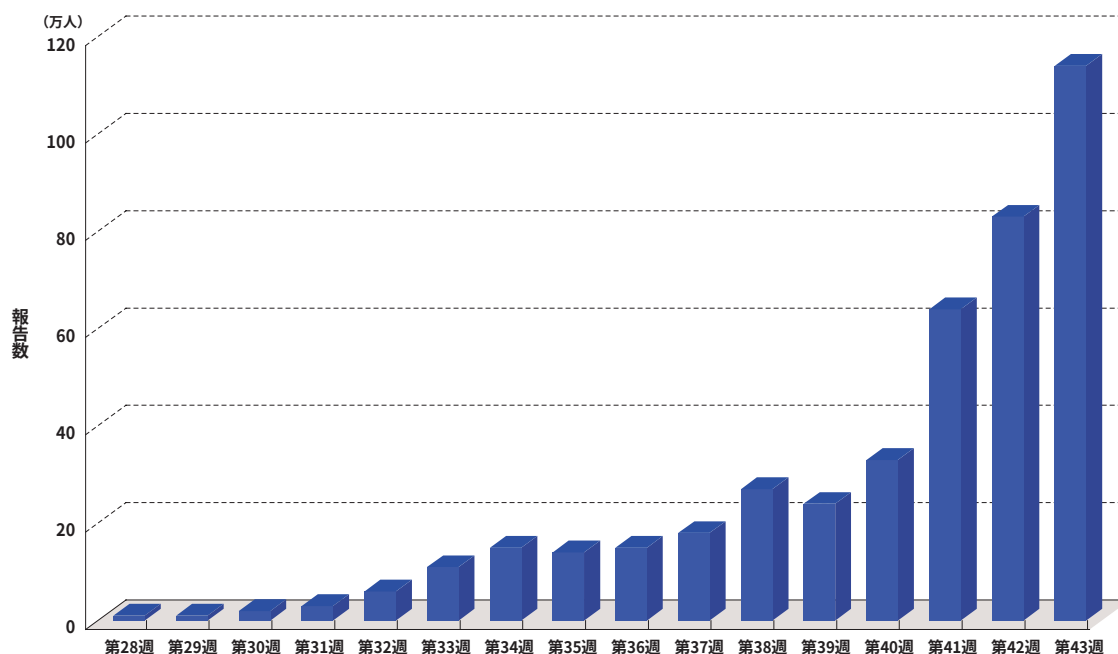
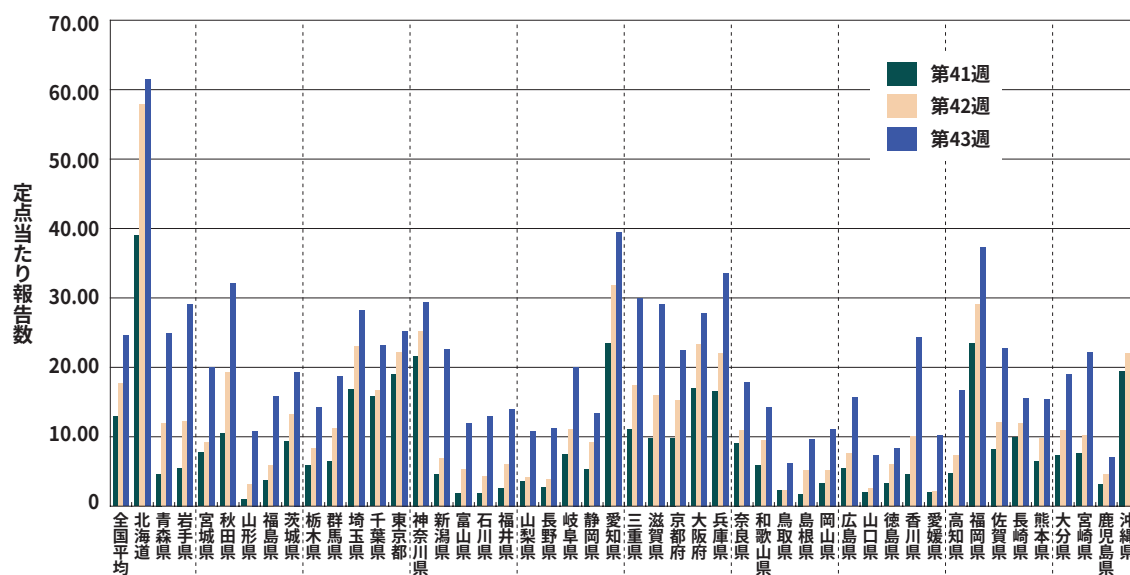


図3. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数の推移(2009年第41～43週)



患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第43週までの定点当たり累積報告数は86.56(累積報告数412,559)であり、年齢群別では10～14歳143,984例(34.9%)、5～9歳124,261例(30.1%)、15～19歳49,809例(12.1%)、0～4歳42,201例(10.2%)、20～29歳20,141例(4.9%)の順となっている(図4)。夏季休暇終了後に5～19歳の割合が増加して流行の中心となっているが、特に第40週以降では5～9歳の報告割合の増加が目立ってきている(図5)。

図4. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2009年第28～43週)

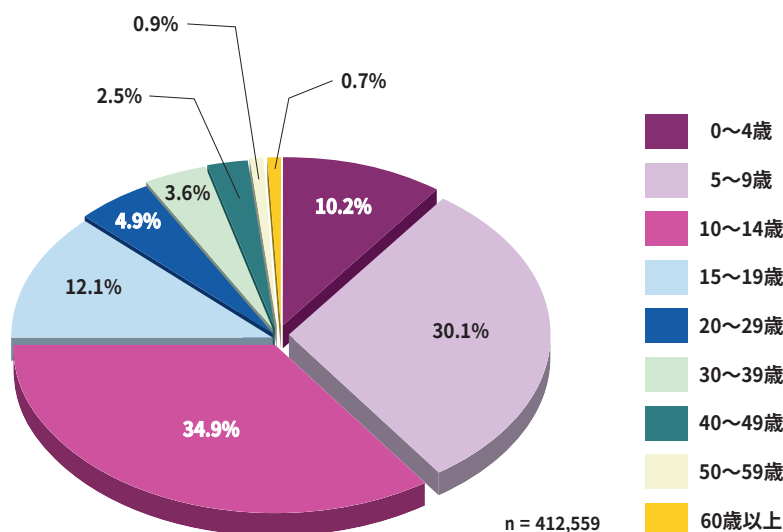
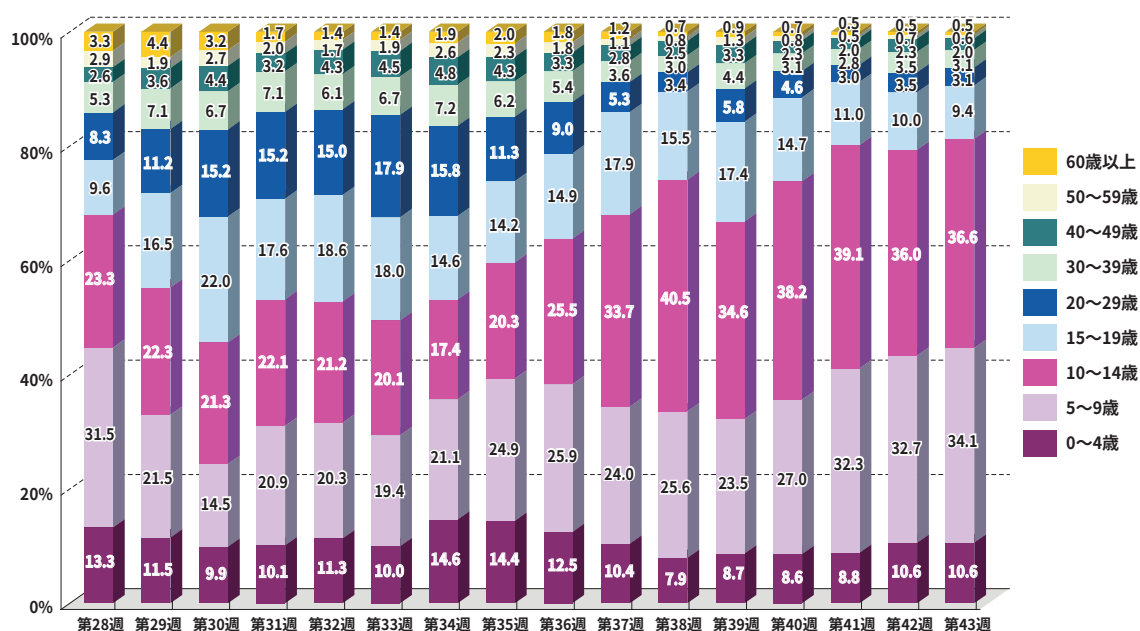
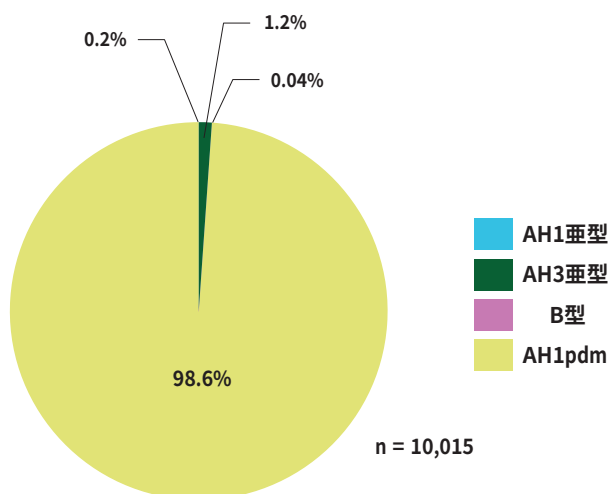


図5. インフルエンザ報告数の年齢群別割合の推移(2009年第28～43週)



日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降第43週までに12,238件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは11,204件(91.6%)を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第43週までに10,015件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型(Aソ連型)18件(0.2%)、AH3亜型(A香港型)119件(1.2%)、B型4件(0.04%)、AH1pdm(新型インフルエンザウイルス)9,874件(98.6%)とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される(図6および感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif> 参照)。

図6. インフルエンザウイルス検出報告割合(2009年第28～43週)
(病原微生物検出情報: 2009年10月29日現在報告数)



新型インフルエンザによると考えられるインフルエンザの流行は、これまで大都市圏に偏在する傾向が強かったが、第43週ではその他の地域にも拡大し、全国規模で本格化してきている。年齢群別でみると、流行の中心である5～19歳の年齢層の報告割合は高いままであるが、特に入院患者数の割合が最も多い5～9歳(厚生労働省ホームページ: <http://www.mhlw.go.jp/za/0730/d20/d20-03.html> 参照)の患者報告数の割合の増加が続いていることは、今後更に小児科での入院患者数が増加してくる可能性が高いことを示唆しており、要注意である。

これまでのインフルエンザ・パンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。また、現時点においては、いまだ殆どの国民が感受性者であることから、たとえ秋季の流行であっても、その規模は従来の冬季における季節性インフルエンザの流行よりも大きくなる可能性があることを考慮しておくべきである。従って、本格的な流行となった場合に、現在の医療体制を維持し、国民に対して医療サービスを提供し続けることが大きな課題であるが、特に今後は小児科での外来受診者数と入院患者数の増加が問題となってくるものと予想される。加えて、発症後急速な経過をとるといわれているインフルエンザウイルス性の肺炎や脳症の合併は要注意であり、これまでの重症例に対する迅速で詳細な解析と速やかな情報の還元は重要と思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年10月29日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2009年5～10月

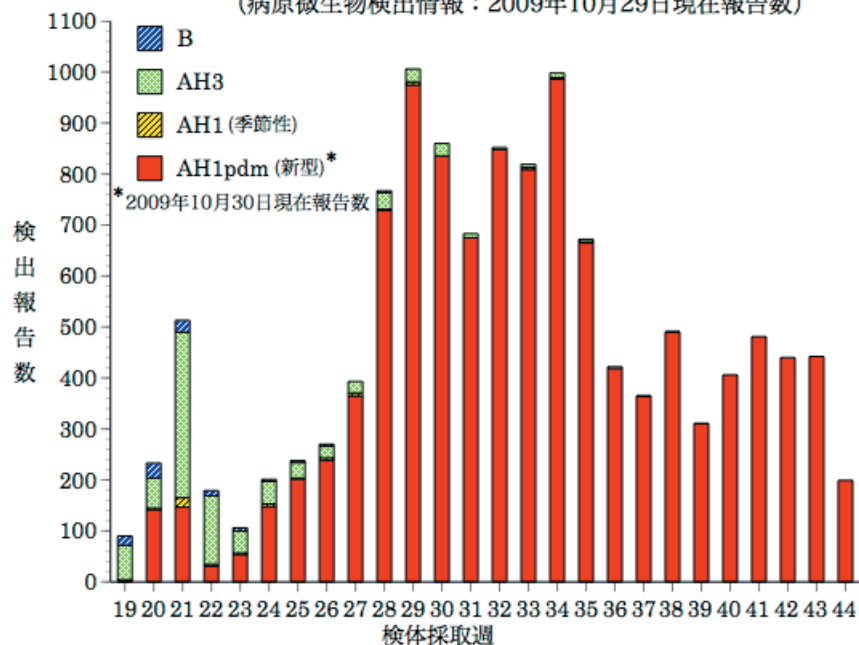
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの発生に対応して、2009年5月以降、地研で鑑別診断のための検査が行われている。第19週に最初の新型インフルエンザウイルスAH1pdm検出例が報告され、第20週以降検出数が増加している。

AH1pdmは、2009年第19～44週に全47都道府県から11,403件の分離・検出が報告されており(2009年10月30日現在報告分)、このうち、7,504件はPCRで検出、3,434件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、465件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(肺炎、気管支炎)381件、インフルエンザ脳症46件、死亡例16件が報告されている。

同期間(第19～44週)に季節性インフルエンザウイルスの分離・検出はAH1亜型(Aソ連型)が65件、AH3亜型(A香港型)が867件、B型が102件の報告があり(2009年10月29日現在報告数)、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の92%を占めている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19～44週
(病原微生物検出情報: 2009年10月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

IASR

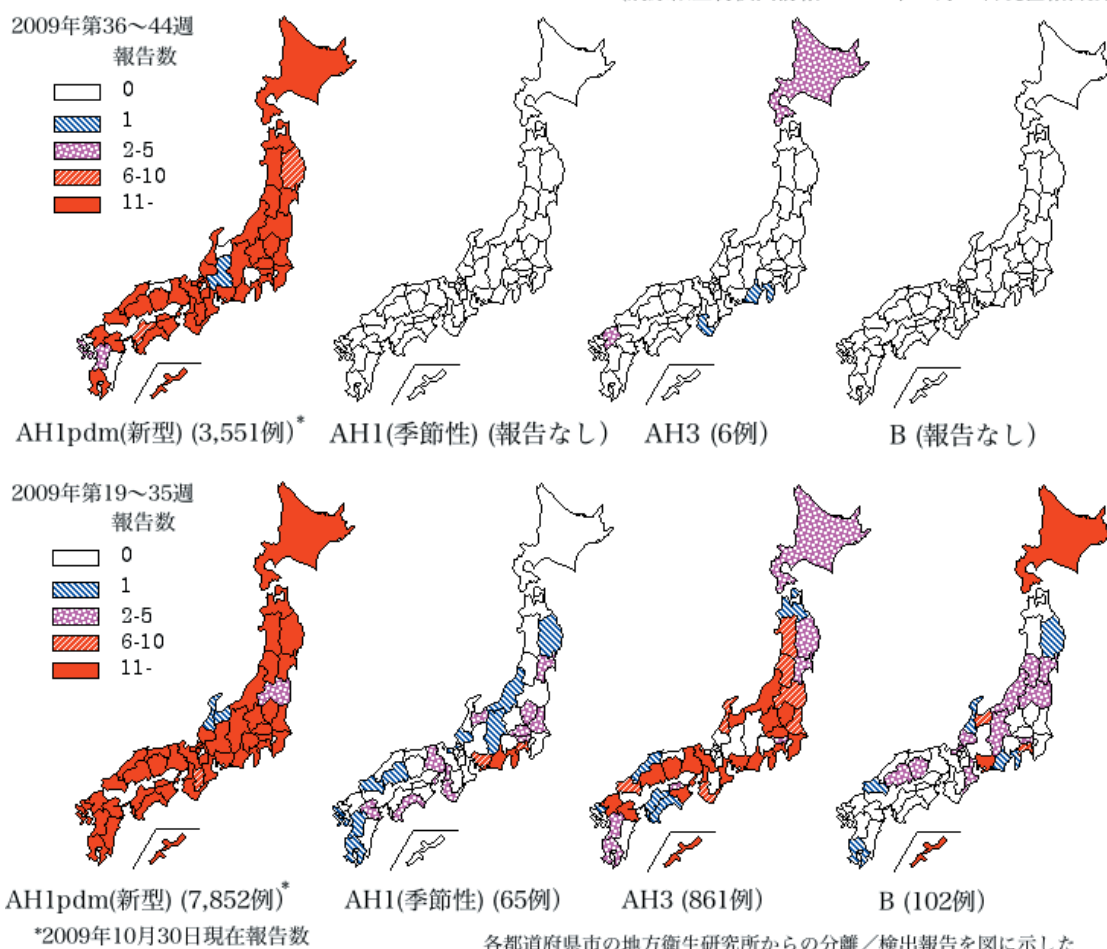
Infectious Agents Surveillance Report

このうち、2009年第19～35週(2008/09シーズン末)までにAH1pdmが47都道府県から7,852件、AH1亜型が23都道府県から65件、AH3亜型が38都道府県から861件、B型が20都道府県から102件報告された。

2009/10シーズンに入ってから、2009年第36～44週にAH1pdmが42都道府県から3,551件、AH3亜型が4道府県から6件報告されているが(15ページ「速報記事」参照)、AH1亜型は第36週以降、B型は第29週以降報告されていない。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19～44週

(病原微生物検出情報: 2009年10月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

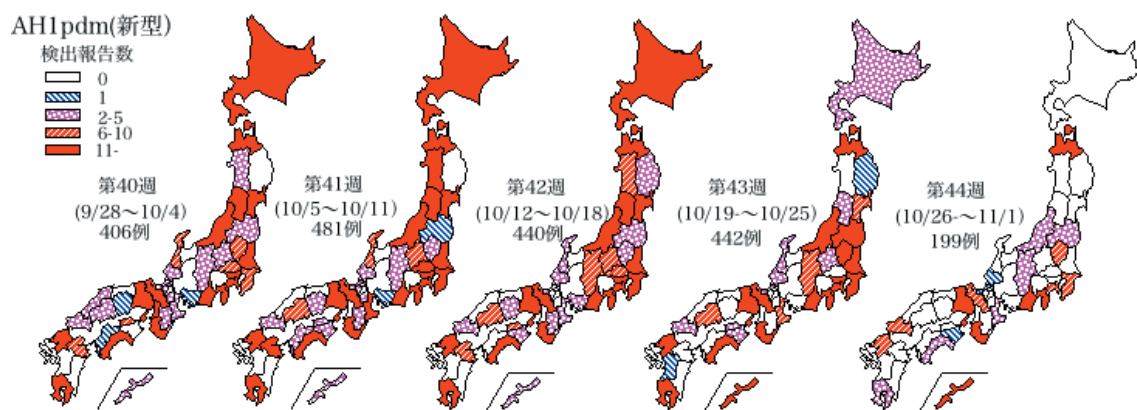
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

また、輸入例からの分離・検出の報告が、第19～24週125件(AH1pdm46件、AH1亜型13件、AH3亜型65件、B型1件)、第25～29週613件(AH1pdm541件、AH1亜型14件、AH3亜型58件)と大きく増加していたが、第30週以降、多くの自治体が疑い例の全例検査を中止したため、第30～35週114件(AH1pdm98件、AH1亜型1件、AH3亜型15件)、第36～44週6件(AH1pdm5件、AH3亜型1件)と減少している。

直近の5週間(第40～44週)ではAH1pdmのみが40都道府県から1,968件報告されている。
インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第40～44週



(病原微生物検出情報: 2009年10月30日現在報告数)

* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した

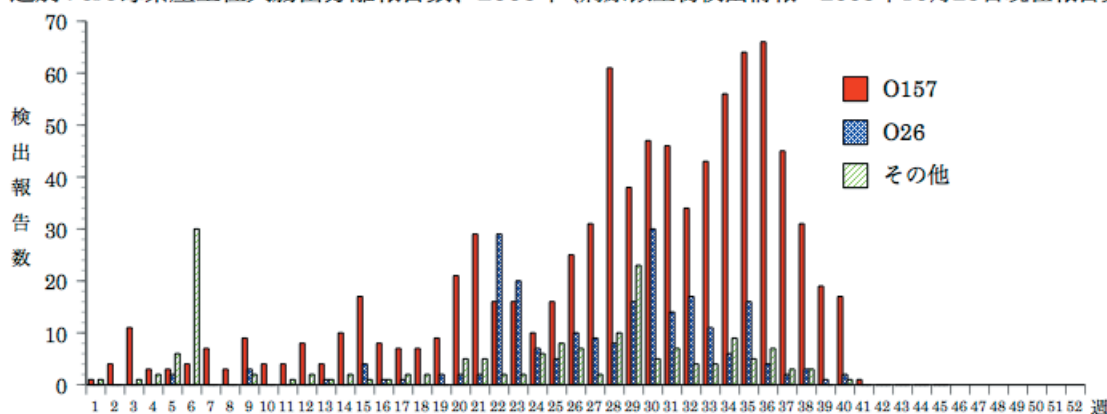
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1～43週(12/29～10/25)までの検出総数は1,256件で、このうち第38週以降の集団発生例からの検出として、第38～40週に石川県(保育所)でO26が4件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2009年(病原微生物検出情報: 2009年10月29日現在報告数)

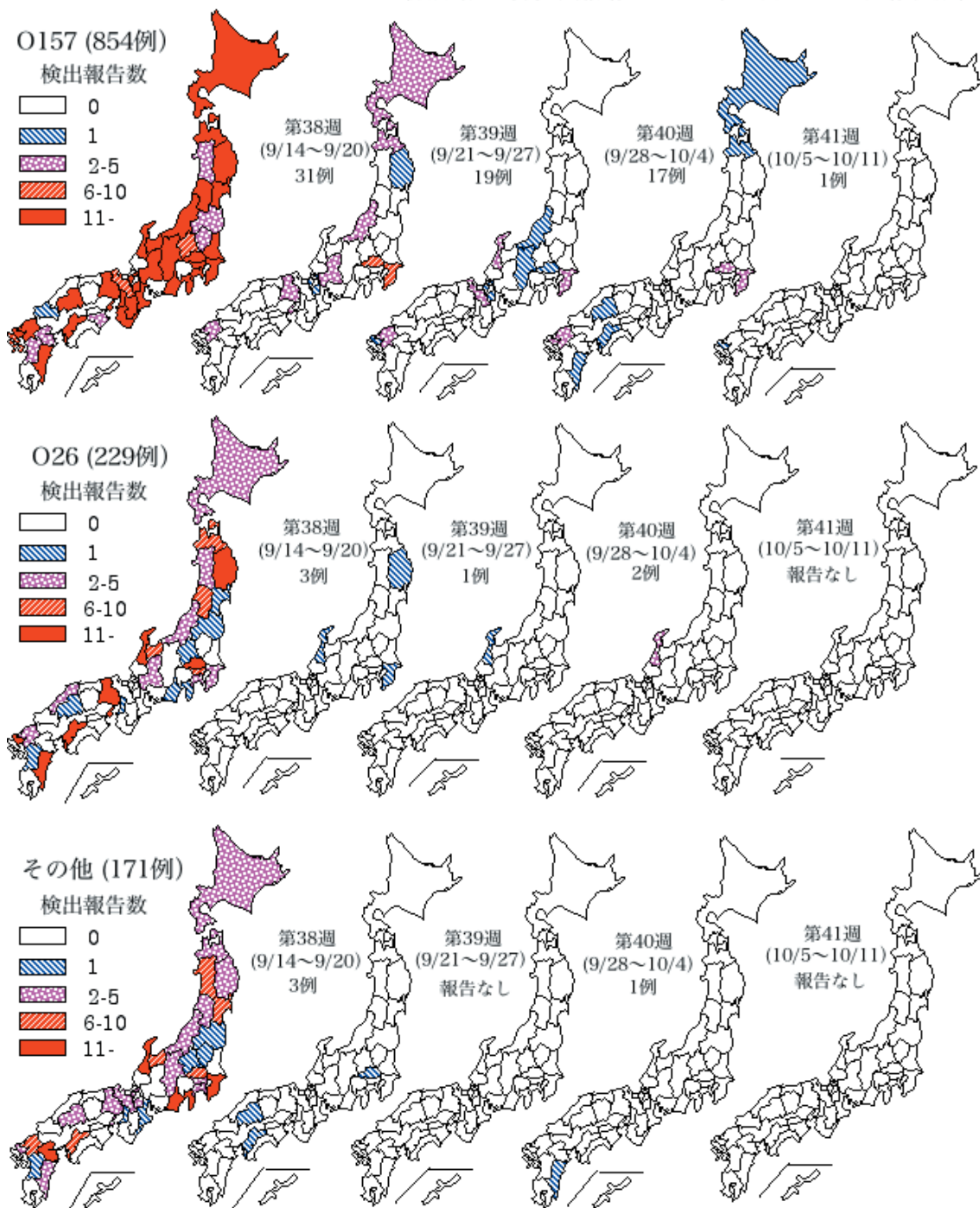


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

2009年1～10月にO157が37都道府県から854件、O26が26都道府県から229件、その他の血清型が30都道府県から171件報告されている。

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2009年
(病原微生物検出情報: 2009年10月29日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆2009/10シーズン初のインフルエンザウイルスAH3亜型分離—札幌市

札幌市では、2009年9月に今シーズン初めての季節性インフルエンザウイルスAH3亜型2株を分離した。

感染症発生動向調査病原体検査の検体として札幌市衛生研究所に搬入された、市内の定点医療機関である2カ所の小児科医院において9月初旬に採取された患者2名からの咽頭ぬぐい液をMDCK細胞に接種し、2検体からインフルエンザウイルスが分離された。患者の概要を表1に示す。

表1. 患者概要

性別	年齢	発症日	検体採取日	臨床症状	分離ウイルス
男	2歳	2009.9.2	2009.9.3	発熱 (39.6℃)	インフルエンザAH3
女	11歳	2009.9.8	2009.9.9	発熱 (38.9℃)、上気道炎	インフルエンザAH3

分離されたウイルス2株について、国立感染症研究所から配布された2009/10シーズン新型インフルエンザAH1pdmウイルス同定用キットを用いて赤血球凝集抑制(HI)試験(0.5%七面鳥赤血球を使用)を行った結果、抗A/California/7/2009(H1N1)pdm(ホモ価2,560)に対して<10であった。そこで、2008/09シーズン用キットを用いてHI試験(0.75%モルモット赤血球を使用)を行ったところ、2株とも抗A/Uruguay/716/2007(ホモ価1,280)に対しHI価80、抗A/Brisbane/59/2007(同1,280)、抗B/Brisbane/3/2007(同2,560)および抗B/Malaysia/2506/2004(同2,560)に対しては<10であり、AH3亜型と同定された。

今回分離したウイルスのHA抗原性は、HI試験の結果からは2008/09シーズンワクチン株と抗原性が異なっていると考えられる。このため、今後、国立感染症研究所から配布される予定である2009/10シーズン用のキットを用いて赤血球凝集抑制(HI)試験を行い、抗原性を比較していく必要がある。札幌市における2008/09シーズンのインフルエンザAH3亜型流行は、例年に比較して小規模であった。一方、新型インフルエンザが発生して以来、AH1pdmが主流を占めているが、中国などではAH3亜型も同時流行しているので、本亜型の発生動向にも注目していきたい。

札幌市衛生研究所

村椿絵美 菊地正幸 扇谷陽子 伊藤はるみ 水嶋好清 矢野公一

(IASR 2009年11月号掲載予定記事)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

●パンデミック(H1N1)2009 短報: no.14ーパンデミックワクチンの方針と戦略についてのWHO専門家によるアドバイス

2009年10月30日

予防接種に関する戦略諮問委員会(SAGE)はワクチンと予防接種についての方針と戦略についてWHOに助言を与える役割をもっている。10月27～29日のこの会議では、パンデミックインフルエンザワクチンと予防接種についての議論に大きな時間を充てた。専門家たちは現在の世界的なパンデミックの状況を評価し、公衆衛生の視点から、問題点と取り得る選択肢について検討した。

議題は、入手可能なワクチンの量、ワクチンの免疫原性の臨床試験の結果及びH1N1パンデミックワクチン接種が現在進行中の国からのワクチンの安全性に関する早期報告に関する検討を含んでいた。

専門家らはWHOに対し、感染に対する防御を誘導するのに必要なワクチンの接種回数、さらに異なる年齢階級における必要な接種回数、季節性ワクチンとパンデミックワクチンの同時接種、そして妊婦へのワクチン使用についての助言も行った。また、2010年の南半球の季節性インフルエンザワクチンの推奨株の組み合わせについても示した。

現在の状況

世界的には、10代及び若年成人が患者の大半を占め、乳幼児でもっとも高い入院率を示している。臨床症状を示している患者の1～10%が入院している。入院患者のうち10～25%がICUへの入院を必要とし、2～9%が死亡している。入院者のうち7～10%が第二または第三妊娠期の妊婦である。妊婦は他の人に比べて、10倍以上ICU治療を必要とする可能性が高い。

これらの報告と他の知見に基づいて、専門家は複数の勧告をした。

1回接種の勧告

専門家らは、弱毒生ワクチン及びアジュバント入りあるいはアジュバント無しの不活化ワクチンを含む複数のパンデミックワクチンが、監督機関によって使用承認を受けたことを指摘した。SAGEは、もし監督機関からの指示と齟齬がなければ、成人及び青年期(10歳以上)にワクチンの1回接種を推奨した。

6か月以上10歳未満の小児での免疫原性に関するデータは限られており、さらなる検討が必要である。SAGEは、小児に早期ワクチン接種の高い優先順位を与えている国では、出来るだけ多くの子供たちに1回目の接種を行うことを優先するように推奨した。SAGEは、免疫の低下した者について効果的なワクチン接種回数を決定するためには、更に研究が必要であることを強調した。

ワクチンの同時接種

季節性インフルエンザワクチンとパンデミックインフルエンザワクチンの同時接種は臨床試験が実施されているが、SAGEは米国CDCの推奨事項を認め、季節性インフルエンザ弱毒生ワクチンとパンデミックインフルエンザ弱毒生ワクチンを同時接種すべきでないとした。

専門家らは、両ワクチンが不活化されているか、一方が不活化でもう一方が弱毒生ワクチンであれば、季節性ワクチンとパンデミックワクチンを同時に接種することは可能であるとした。専門家らはワクチンの同時接種により副反応のリスクが高くなることの証拠は無いとした。

ワクチンの安全性

専門家らはワクチン接種した人々におけるモニタリングの早期の結果を評価し、通常では見られない副反応の兆候は見られなかったとした。ワクチンによるいくつかの副反応は報告されているが、安全性が高いとされている季節性ワクチンに見られる範囲内である。早期の結果がワクチン接種に対して安心出来る結果であったが、副反応のモニタリングは継続すべきである。

妊婦へのワクチン接種

妊婦へのワクチン接種に関して、SAGEは実験動物を使用した研究で弱毒生ワクチン及びアジュバンド無しまたはアジュバンド入り不活化ワクチンの使用は受精、妊娠、胎芽または胎児の成長、出産、出産後の発達に直接、間接的な有害な影響を及ぼすという証拠がないことを示した。

これらのデータと事実上パンデミックウイルスに感染した妊婦の重症化へのリスクが上昇していることから、監督機関による特定の禁忌事項が指摘されなければ、SAGEはすべての承認されたワクチンは妊婦に使用することが可能であると推奨した。

2010年の南半球のワクチン

SAGEは2010年の南半球での冬期に使用するワクチンも検討した。

2つの選択肢について評価し、1つはH1N1パンデミックウイルス、季節性H3N2ウイルスとB型ウイルスの3価ワクチンで、もう1つは H3N2ウイルスとB型ウイルスの2価ワクチンで、これは単抗原H1N1パンデミックワクチンを追加する必要があるであろう。

専門家らは、双方のオプションを南半球でのワクチンにおいては利用可能とすべきとし、各国のニーズに従って実施することを結論づけた。



感染症の話

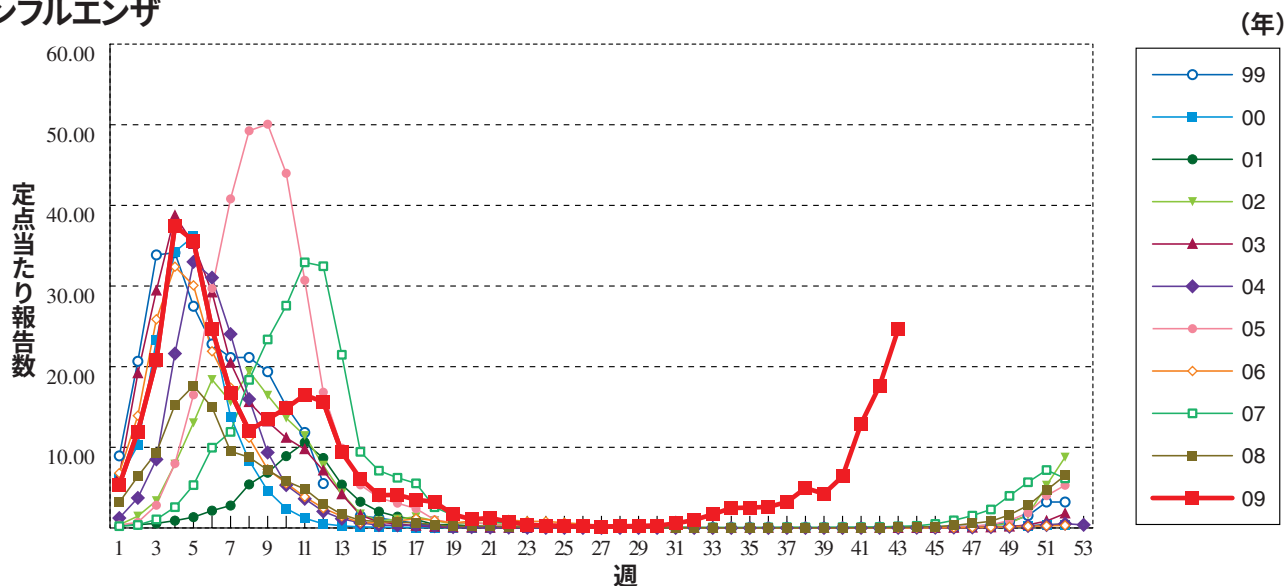
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

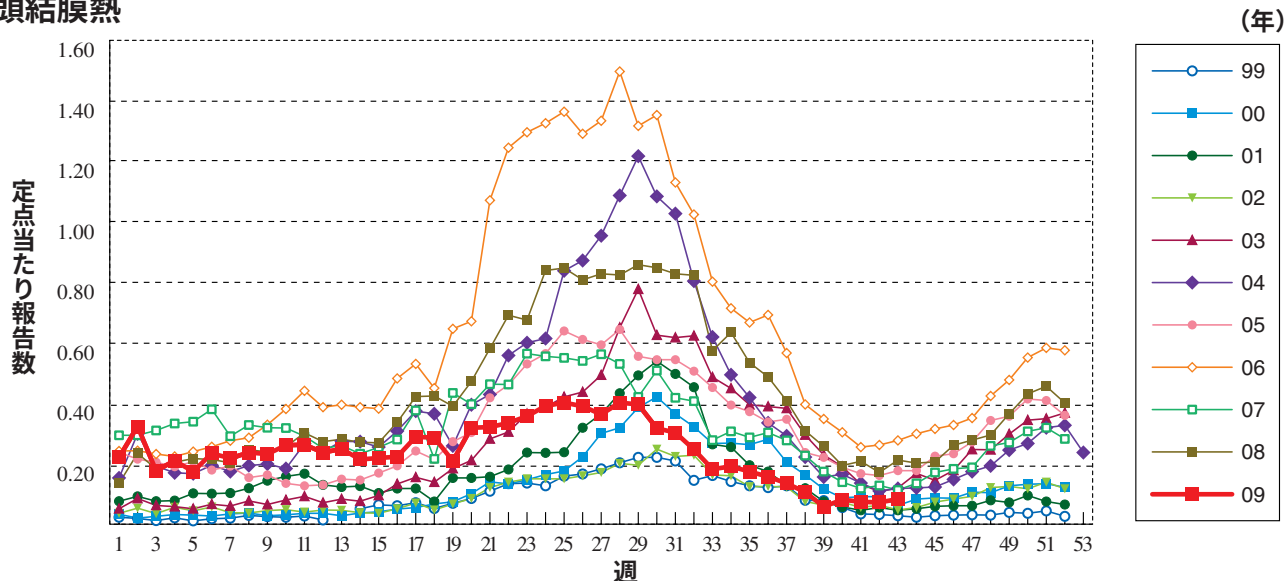


グラフ総覧(43週)

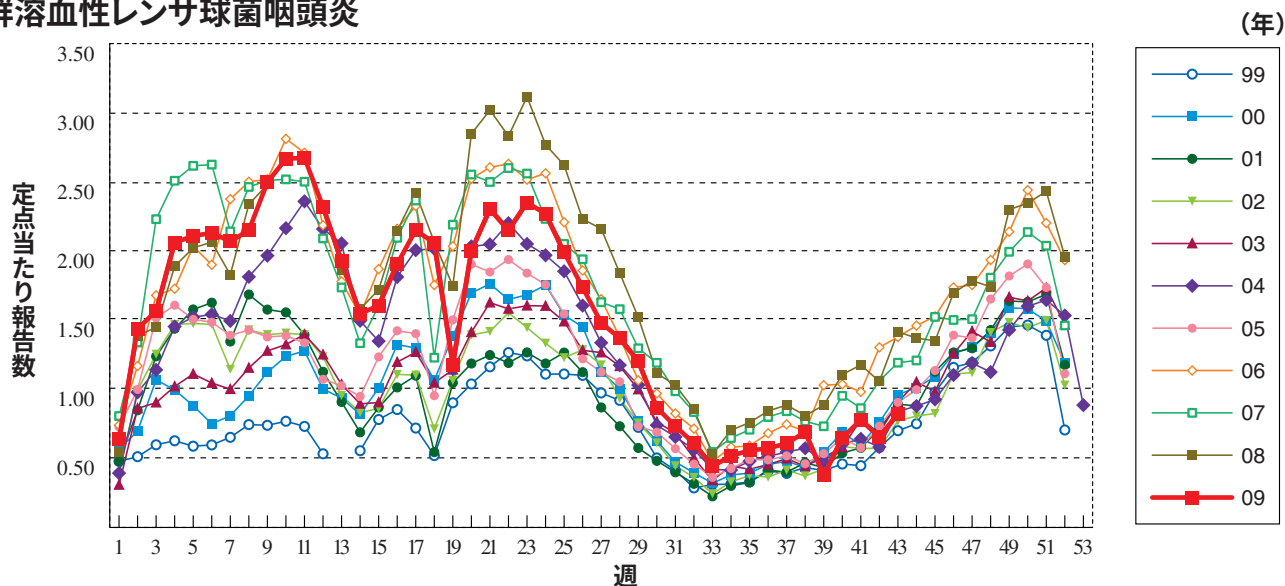
インフルエンザ



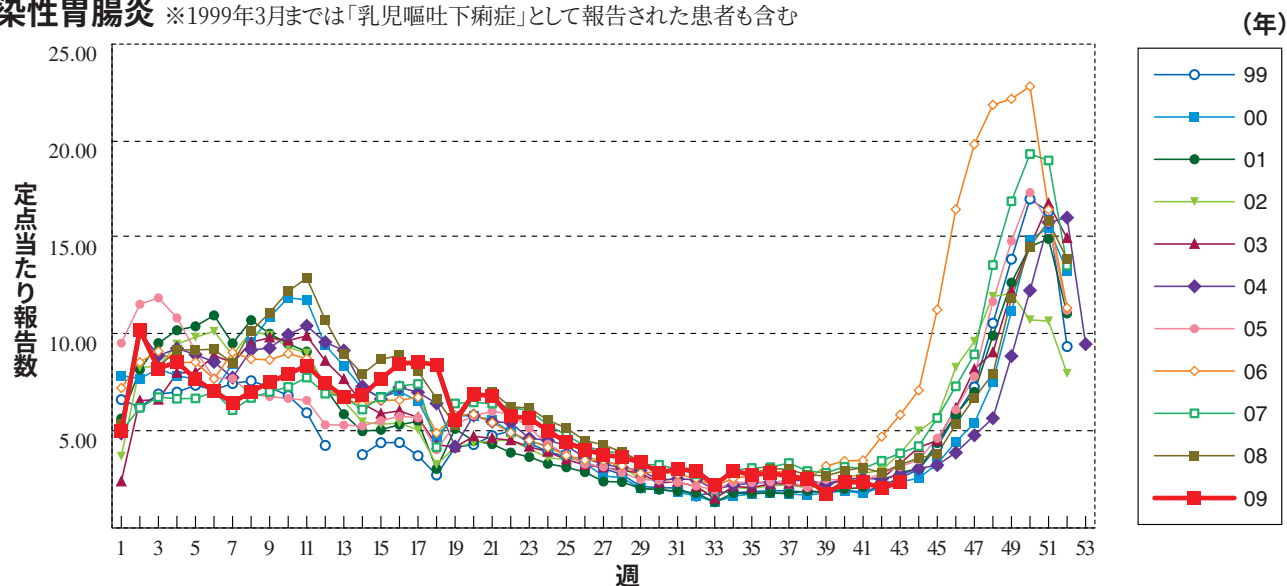
咽頭結膜熱



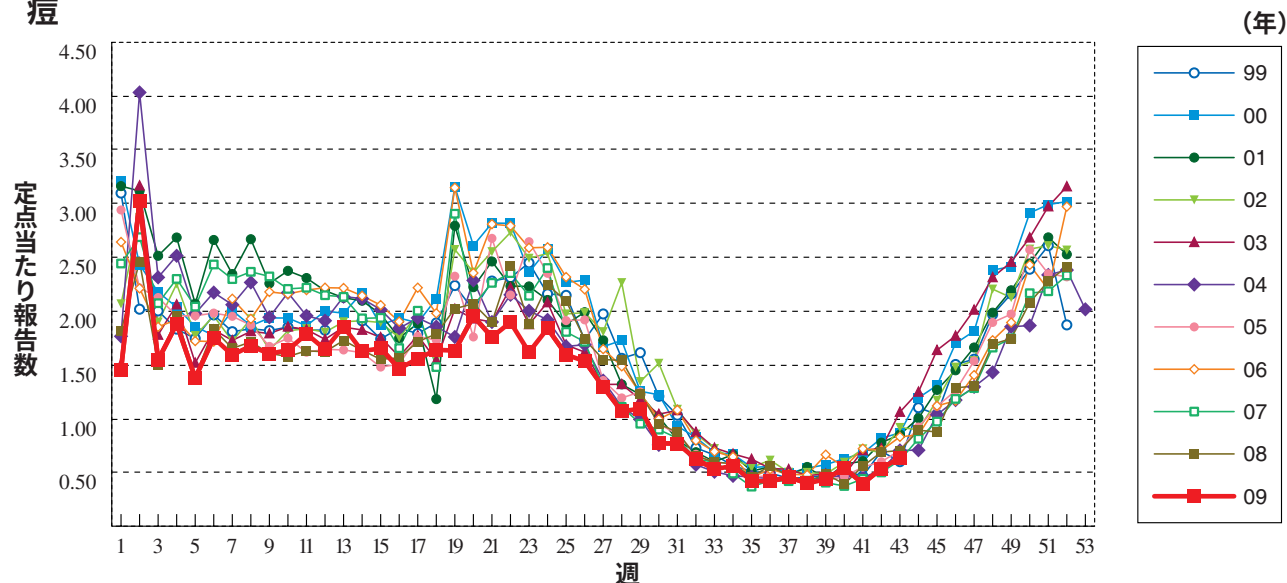
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



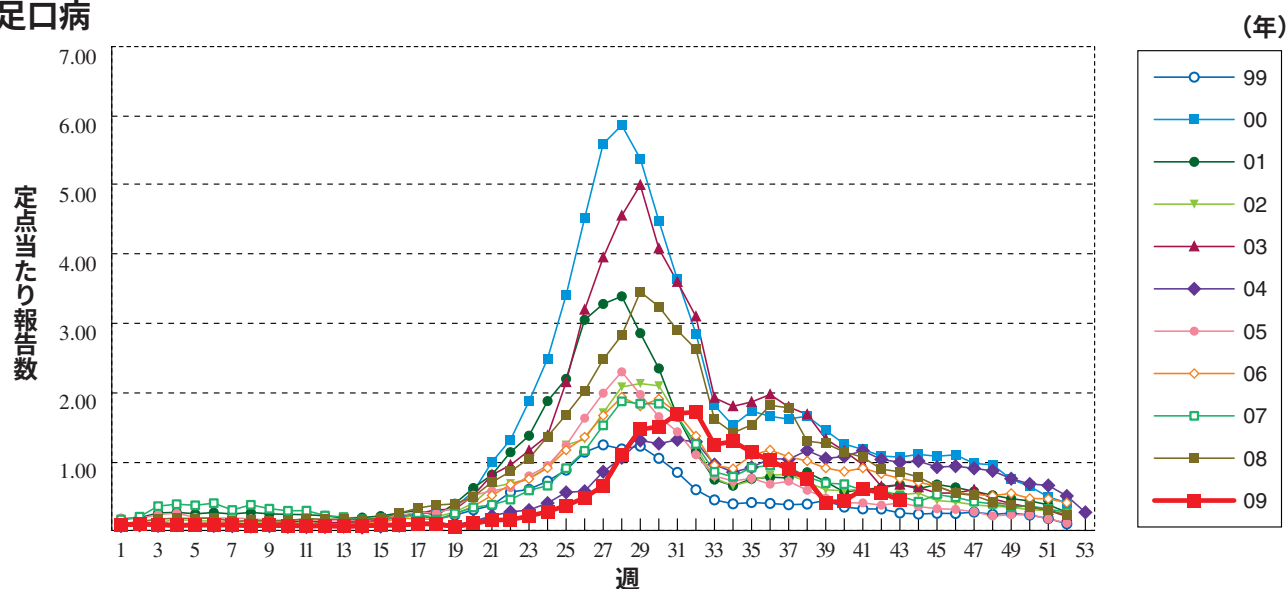
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



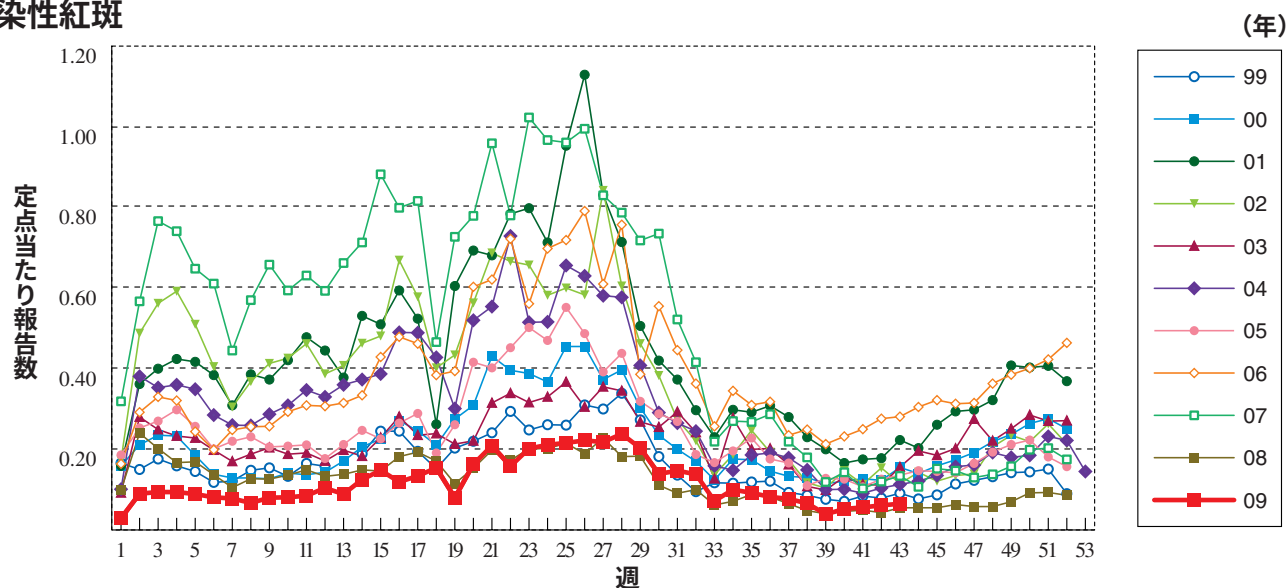
水痘



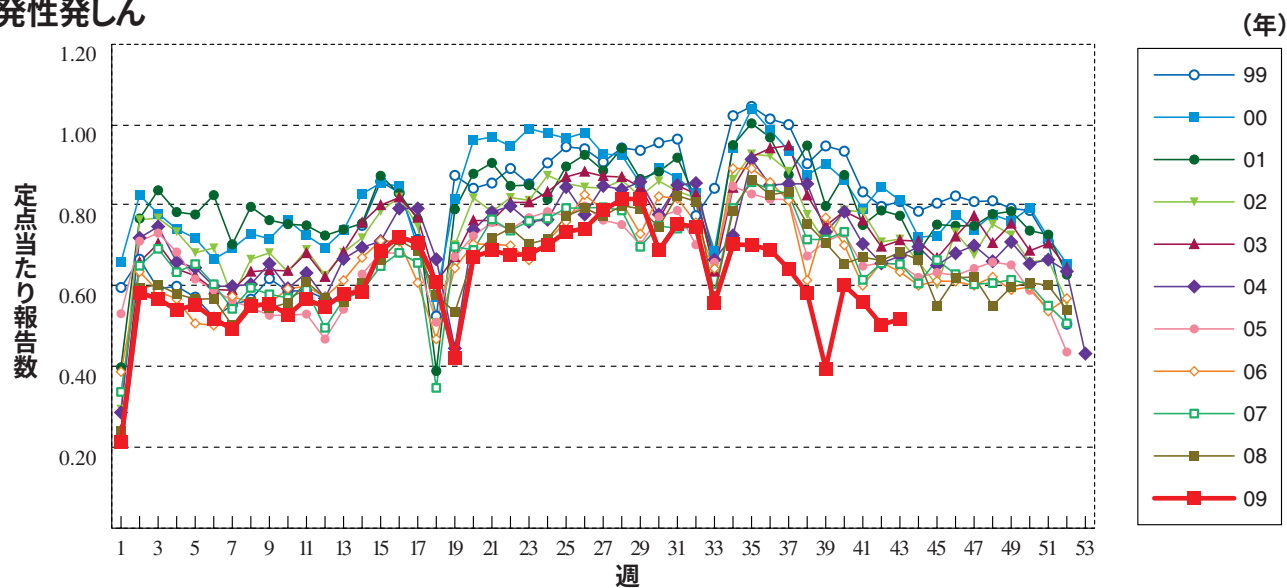
手足口病



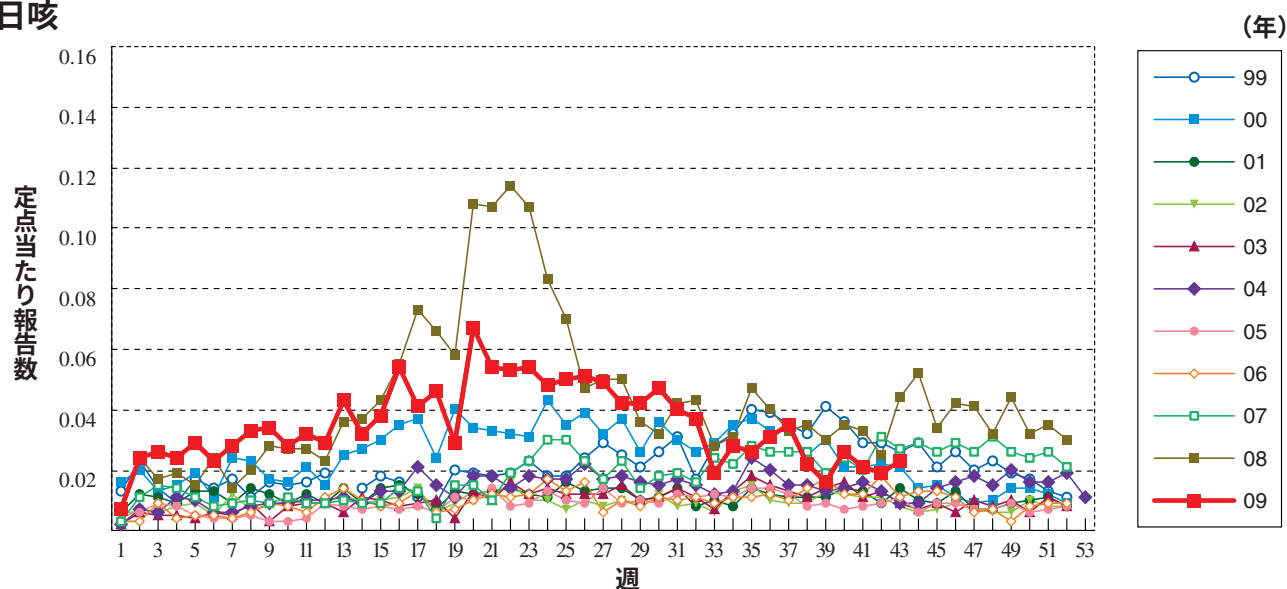
伝染性紅斑



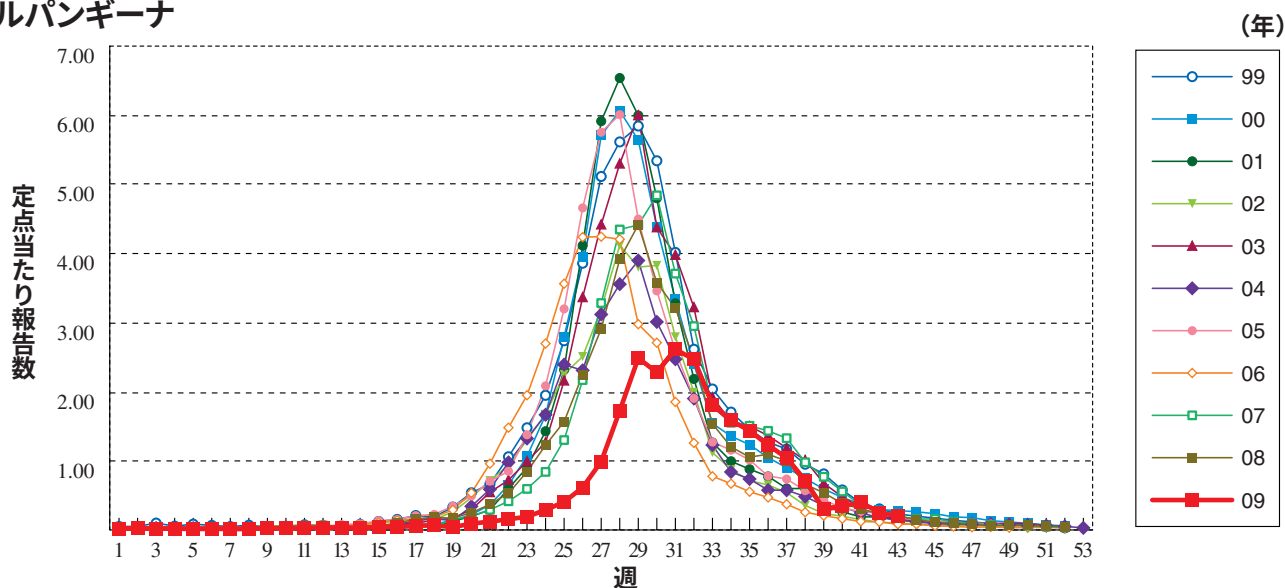
突発性発しん



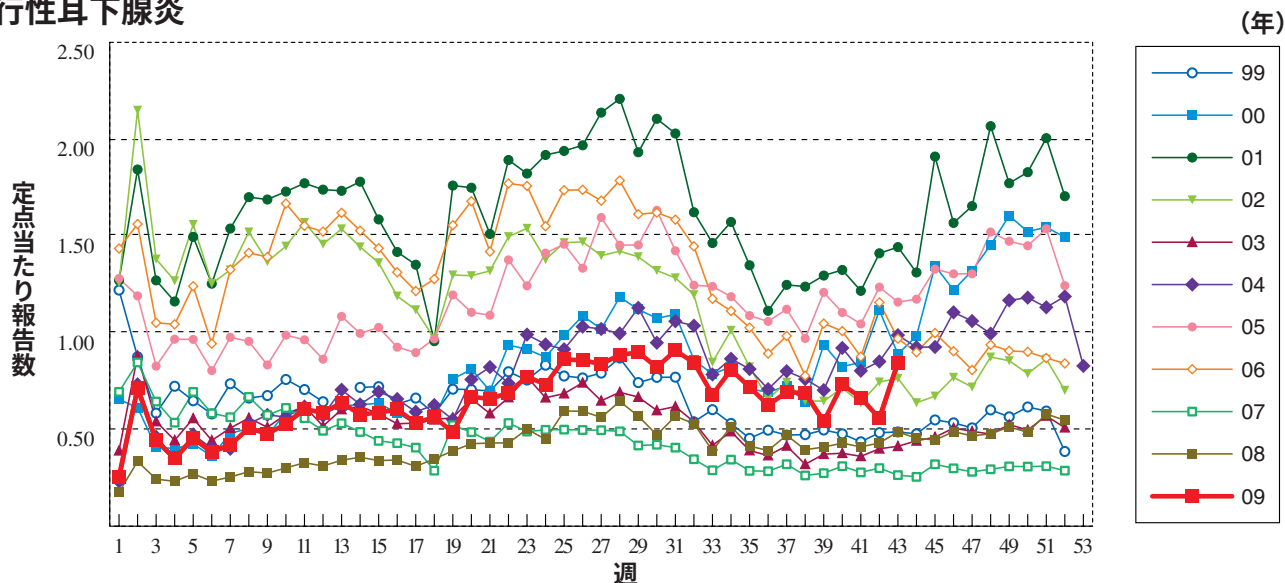
百日咳



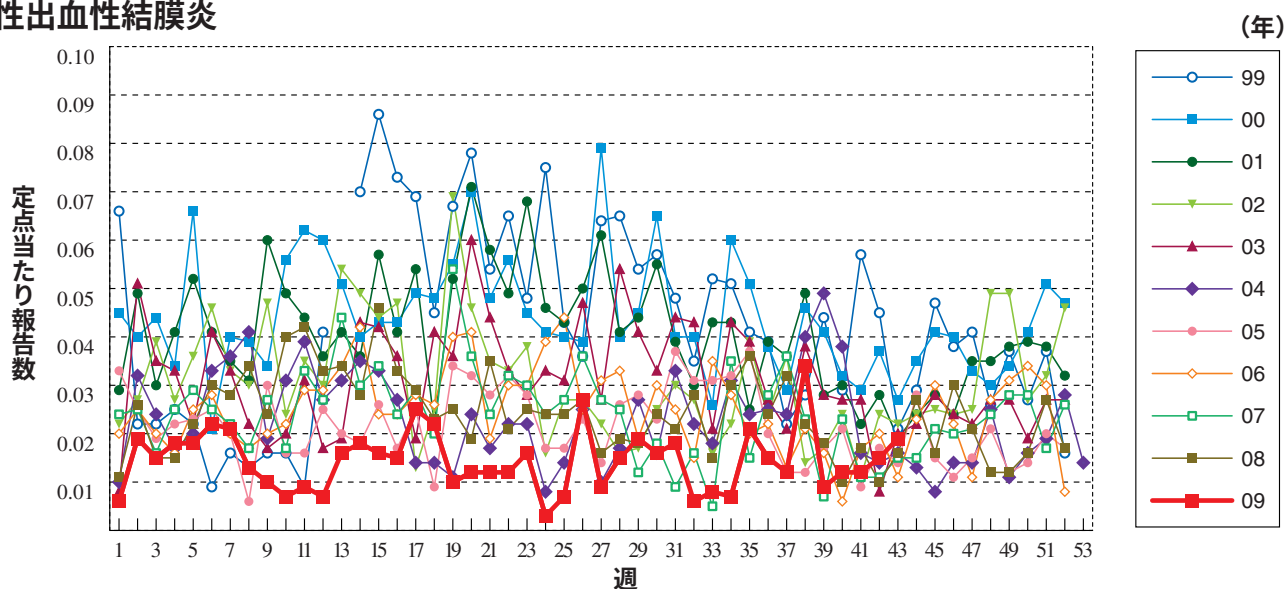
ヘルパンギーナ



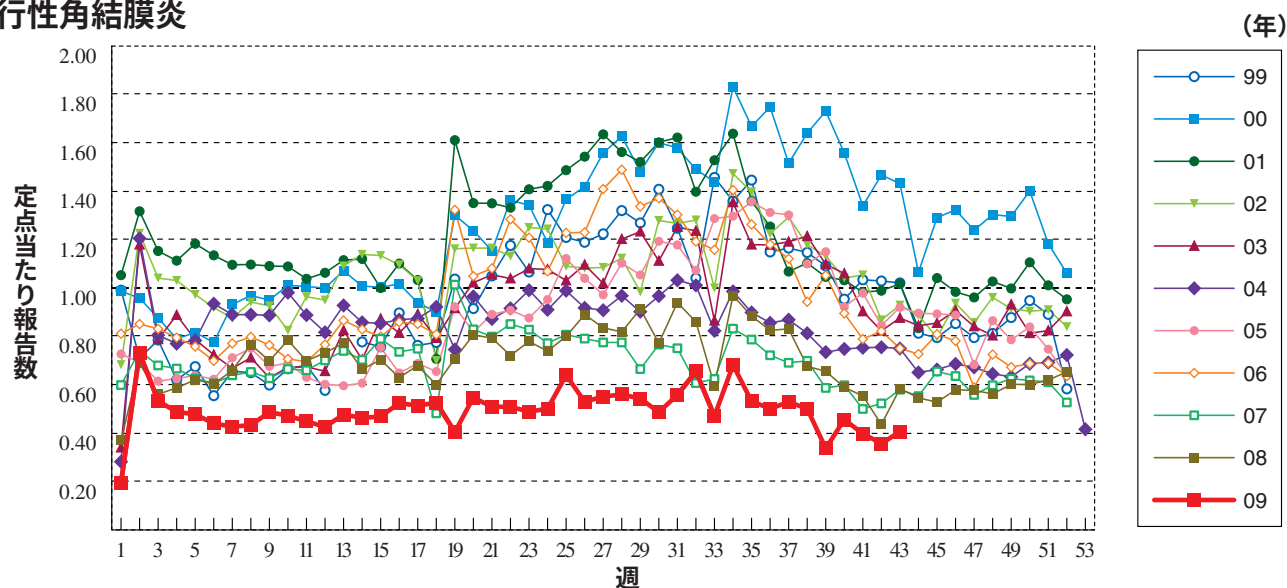
流行性耳下腺炎



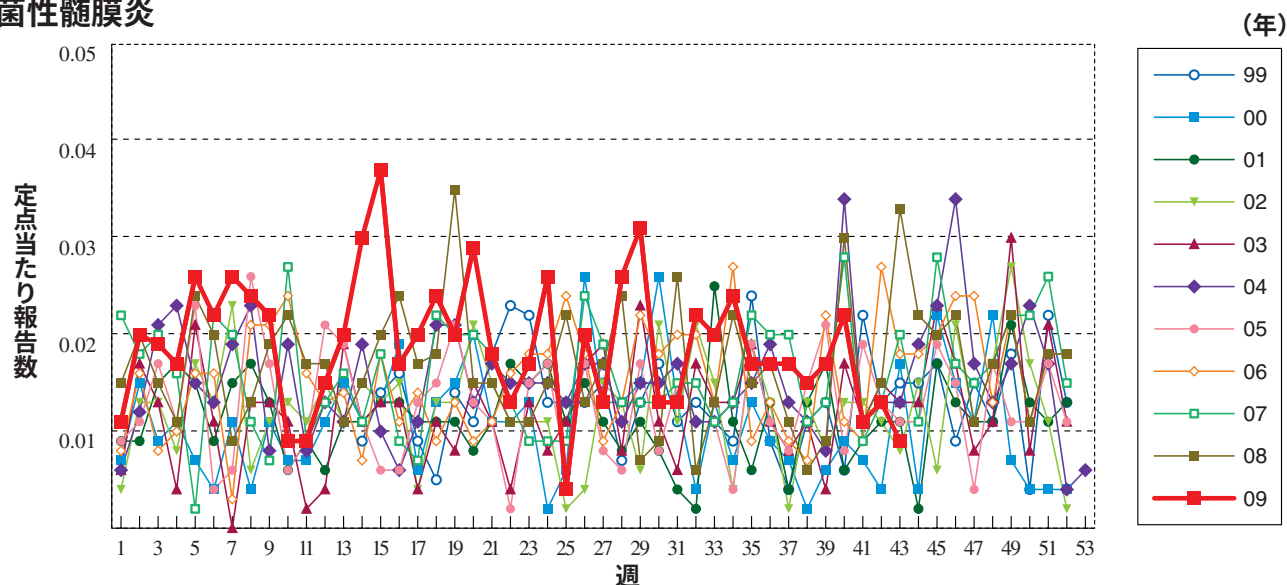
急性出血性結膜炎



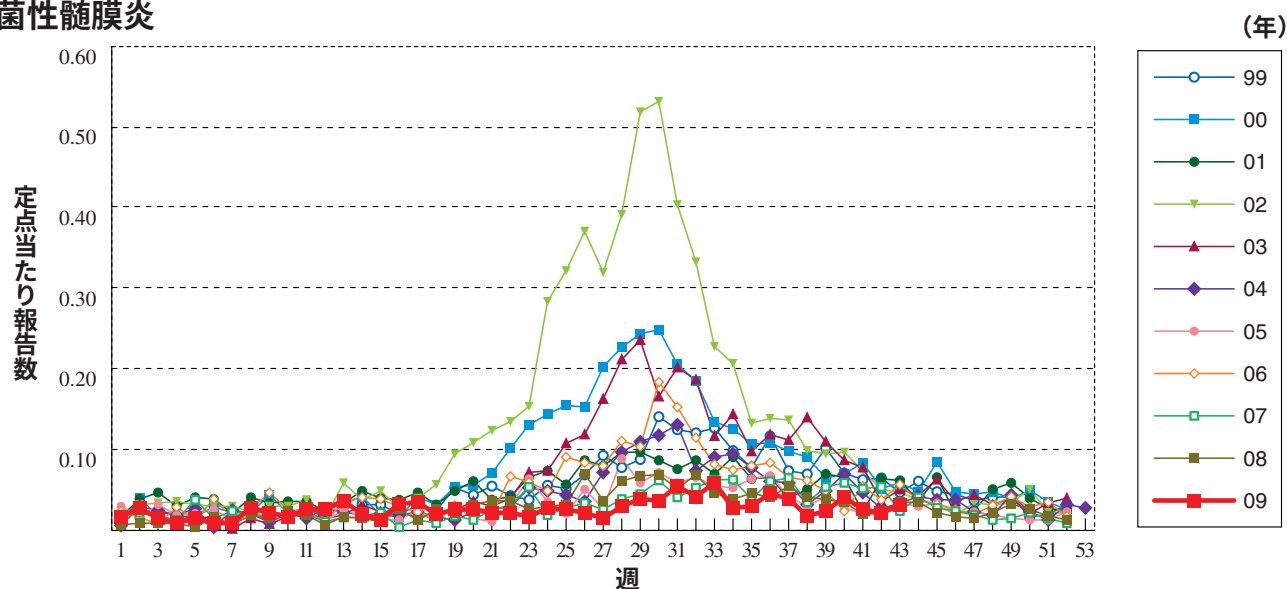
流行性角結膜炎



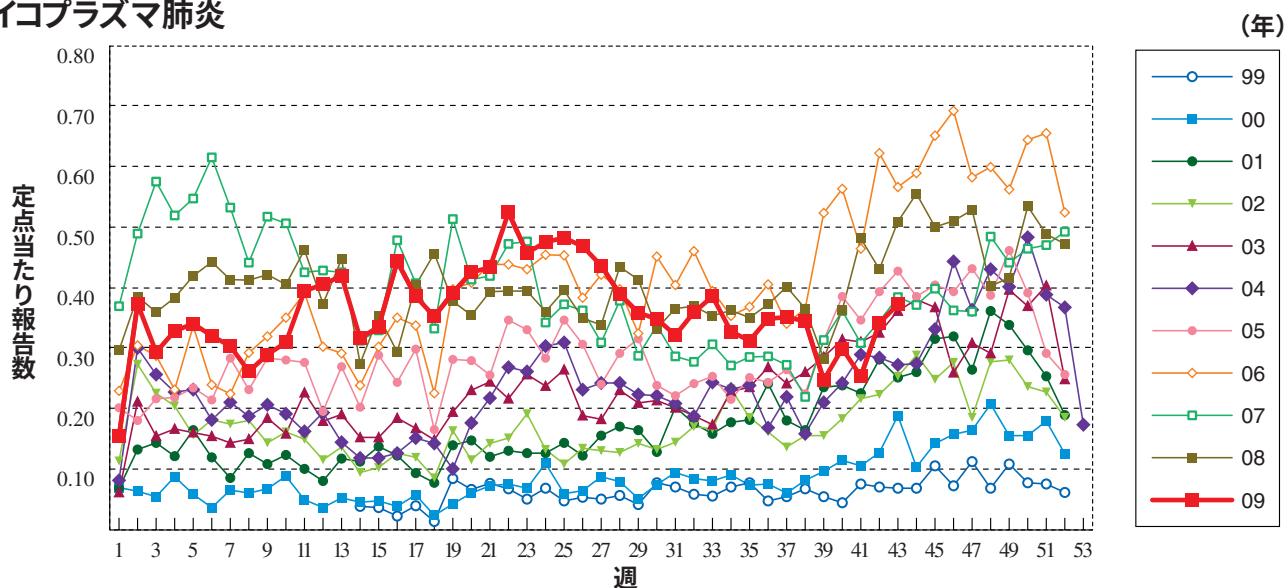
細菌性髄膜炎



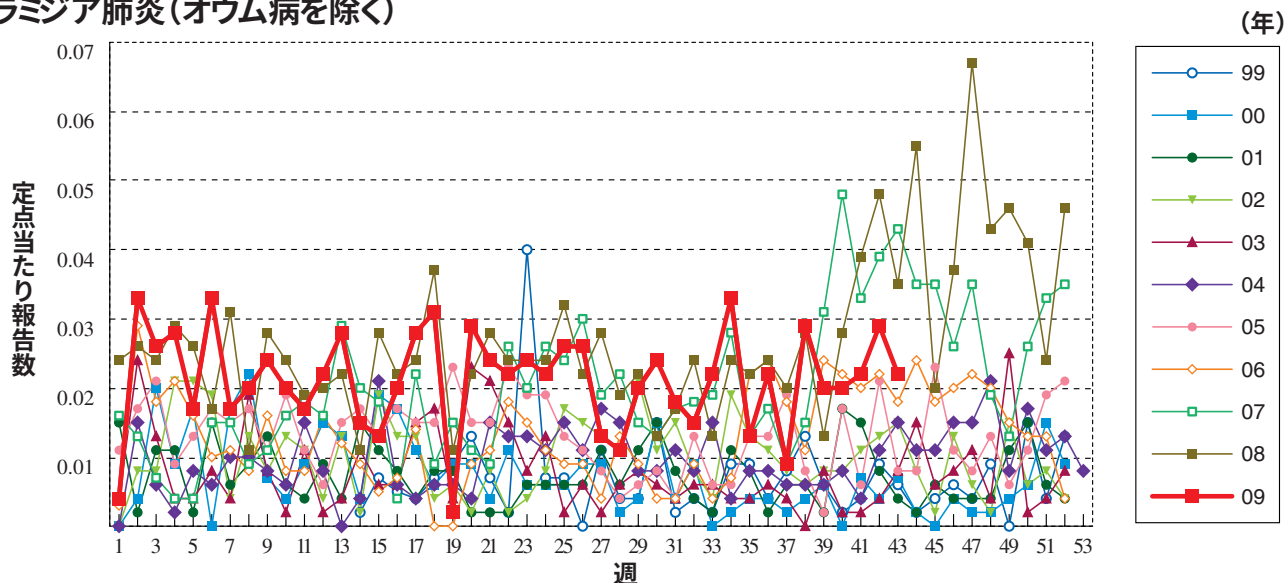
無菌性髄膜炎



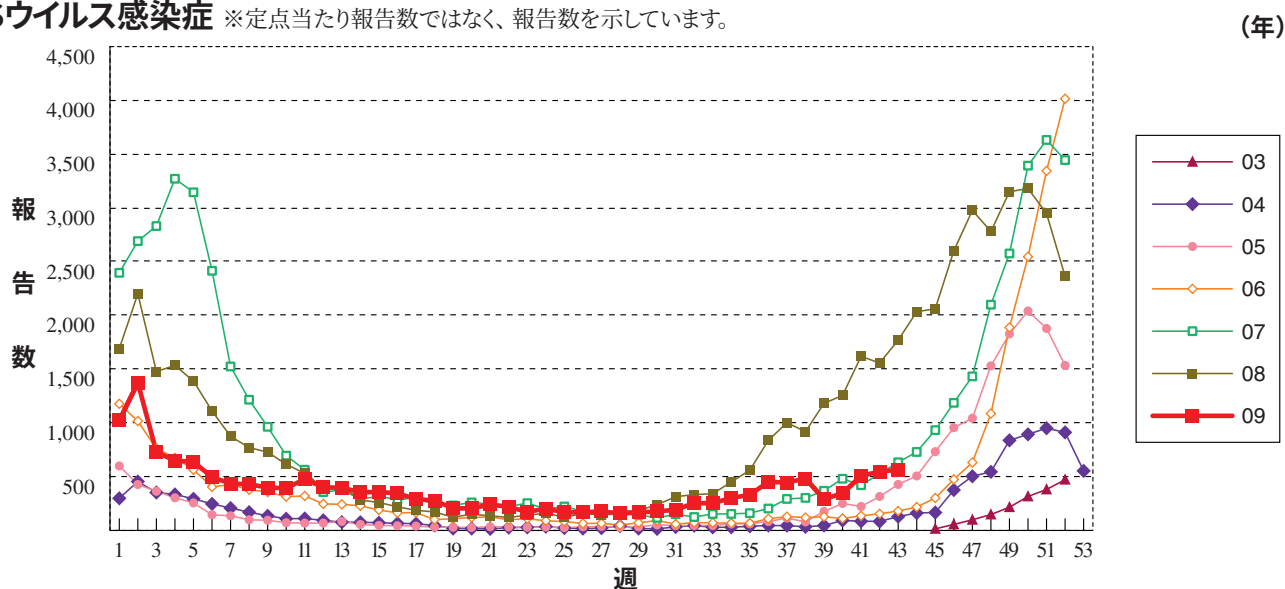
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





43週のデータ

注) 表中の報告数は10月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年43週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	291	21302
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	621
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	276
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	152
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	258
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	129
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	154
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	227
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	399
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	247
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	129
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	979
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	1177
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	3291
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	1544
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	275
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	155
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	156
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	242
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	420
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	562
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	1659
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	317
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	213
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	517
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1192
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	738
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	270
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	231
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	139
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	291
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	482
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	232
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	167
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	221
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	912
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	166
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	292
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	289
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	222
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	218
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	311
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年43週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	14	6	148	72	3283	1	23	-	20	-	40
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	81	-	1	-	-	-	10	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	34	-	1	-	-	-	1	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	56	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	90	-	-	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	68	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	30	-	-	-	-	-	1	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	27	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	27	-	-	-	-	-	2	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	61	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3	2	115	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	10	4	140	-	1	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	-	38	6	281	-	10	-	11	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	17	2	135	1	1	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	30	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	89	-	-	-	-	-	1	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	27	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	42	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	57	-	1	-	2	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	3	187	-	2	-	3	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	31	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	24	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	103	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	3	155	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	164	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	98	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	95	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	38	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	67	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	10	280	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	49	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	33	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	107	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	63	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル 森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	99	-	17	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	9	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	18	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	9	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	狂 犬 病		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	120	1	69
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	17	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	6	87	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	53	-	-	-	6	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年43週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	11	551	-	12	-	-	2	641	3	178	12	260	-	13	3	108
北海道	-	-	-	19	-	-	-	-	-	17	-	2	-	4	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	1	-	5	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	3
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	12	-	-	-	4	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	5	-	2	-	8	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	6	-	3	-	6	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	7	-	5	-	3	-	-	-	2
埼玉県	-	-	4	24	-	-	-	-	-	25	-	11	1	14	-	-	-	4
千葉県	-	-	1	20	-	1	-	-	1	43	-	3	2	29	-	-	1	3
東京都	-	-	-	41	-	-	-	-	-	113	2	28	2	33	-	2	-	10
神奈川県	-	-	-	32	-	1	-	-	1	50	-	14	-	12	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	17	-	1	-	-	-	6	-	-	1	13	-	-	-	2
富山県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2
長野県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	1	4
岐阜県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	22	-	-	-	-	-	11	-	5	-	2	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	37	-	-	-	-	-	48	-	14	1	14	-	-	-	7
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	5
滋賀県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	9	-	1	1	4	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	17	-	5	-	6	-	-	1	2
大阪府	-	-	1	28	-	-	-	-	-	76	-	15	3	39	-	-	-	8
兵庫県	-	-	4	34	-	-	-	-	-	35	-	12	-	2	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	1	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	16	-	8	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	1	12	-	7	-	-	-	4
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	17	-	8	1	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	3	-	2	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	4	-	8	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	7	-	7	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	87	8	1168	1	63	-	9	-	1	4	566	1	99	-	-	2	80
北海道	-	3	-	25	-	3	-	-	-	-	-	13	-	7	-	-	-	4
青森県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	1	1
秋田県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	3	-	21	-	3	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	3	-	13	1	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	5	-	29	-	-	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	4	-	41	-	2	-	2	-	-	1	21	1	6	-	-	-	4
東京都	-	8	3	380	-	18	-	1	-	-	2	158	-	6	-	-	-	11
神奈川県	-	7	-	62	-	6	-	1	-	-	-	27	-	4	-	-	-	16
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
長野県	-	1	-	9	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	1	11	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	21	-	1	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	8	-	73	-	1	-	1	-	-	-	34	-	4	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
京都府	-	1	-	21	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	4	2	189	-	10	-	-	-	-	-	52	-	4	-	-	-	5
兵庫県	-	7	-	39	-	2	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	1	1
奈良県	-	4	-	12	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	1
広島県	-	4	1	24	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	40	-	2	-	2	-	-	-	44	-	3	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	1	11	-	1	-	1	-	-	-	17	-	4	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	1
宮崎県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	7	-	8	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年43週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	139	4	680
北海道	-	4	-	15
青森県	-	-	-	9
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	8
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	9
茨城県	-	2	-	10
栃木県	-	2	-	11
群馬県	-	1	-	10
埼玉県	-	4	-	40
千葉県	-	10	2	101
東京都	-	18	-	102
神奈川県	1	13	1	90
新潟県	-	5	-	12
富山県	-	1	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	13
岐阜県	-	2	-	7
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	28
三重県	-	2	-	2
滋賀県	-	2	-	7
京都府	-	1	-	10
大阪府	-	12	-	56
兵庫県	-	6	-	6
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	1	-	2
島根県	-	1	-	1
岡山県	-	2	-	10
広島県	-	3	1	23
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	6
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	22	-	24
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	3
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	5

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	118570	24.62	253	0.08	2497	0.82	7198	2.37	1941	0.64	1331	0.44	197	0.06	1575	0.52	69	0.02
北海道	14006	61.43	8	0.06	168	1.17	137	0.96	96	0.67	55	0.38	2	0.01	38	0.27	2	0.01
青森県	1618	24.89	17	0.40	45	1.07	41	0.98	33	0.79	19	0.45	16	0.38	23	0.55	-	-
岩手県	1863	29.11	1	0.03	19	0.48	72	1.80	63	1.58	40	1.00	1	0.03	14	0.35	-	-
宮城県	1919	19.99	6	0.10	34	0.57	154	2.57	36	0.60	16	0.27	-	-	39	0.65	1	0.02
秋田県	1768	32.15	6	0.17	45	1.29	74	2.11	20	0.57	17	0.49	-	-	13	0.37	-	-
山形県	520	10.83	3	0.10	56	1.87	76	2.53	18	0.60	120	4.00	5	0.17	19	0.63	-	-
福島県	1263	15.79	-	-	21	0.44	70	1.46	40	0.83	35	0.73	8	0.17	26	0.54	1	0.02
茨城県	2322	19.35	3	0.04	50	0.67	91	1.21	19	0.25	45	0.60	10	0.13	29	0.39	1	0.01
栃木県	1083	14.25	1	0.02	25	0.52	38	0.79	16	0.33	29	0.60	-	-	26	0.54	2	0.04
群馬県	1876	18.76	10	0.16	39	0.63	154	2.48	34	0.55	11	0.18	7	0.11	35	0.56	-	-
埼玉県	6972	28.23	5	0.03	198	1.25	401	2.54	109	0.69	105	0.66	20	0.13	107	0.68	2	0.01
千葉県	4892	23.18	6	0.05	133	1.00	291	2.19	85	0.64	63	0.47	14	0.11	84	0.63	11	0.08
東京都	7269	25.24	11	0.07	114	0.77	324	2.19	72	0.49	75	0.51	16	0.11	93	0.63	2	0.01
神奈川県	9660	29.36	10	0.05	115	0.56	427	2.07	128	0.62	60	0.29	24	0.12	121	0.59	3	0.01
新潟県	2198	22.66	8	0.13	110	1.80	127	2.08	51	0.84	43	0.70	5	0.08	30	0.49	2	0.03
富山県	577	12.02	7	0.24	54	1.86	153	5.28	36	1.24	8	0.28	1	0.03	12	0.41	-	-
石川県	621	12.94	5	0.17	24	0.83	107	3.69	25	0.86	9	0.31	1	0.03	12	0.41	1	0.03
福井県	448	14.00	5	0.23	20	0.91	75	3.41	12	0.55	12	0.55	-	-	9	0.41	2	0.09
山梨県	429	10.73	-	-	28	1.17	26	1.08	12	0.50	16	0.67	1	0.04	6	0.25	-	-
長野県	991	11.26	4	0.07	54	0.98	137	2.49	43	0.78	16	0.29	16	0.29	20	0.36	2	0.04
岐阜県	1745	20.06	-	-	30	0.57	69	1.30	17	0.32	2	0.04	1	0.02	17	0.32	-	-
静岡県	1781	13.39	3	0.04	62	0.74	193	2.30	31	0.37	17	0.20	3	0.04	42	0.50	1	0.01
愛知県	7647	39.42	8	0.04	94	0.52	409	2.27	109	0.61	11	0.06	4	0.02	90	0.50	8	0.04
三重県	2158	29.97	1	0.02	20	0.44	152	3.38	27	0.60	4	0.09	5	0.11	26	0.58	-	-
滋賀県	1515	29.13	1	0.03	20	0.65	74	2.39	10	0.32	6	0.19	-	-	9	0.29	-	-
京都府	2778	22.40	14	0.19	27	0.36	153	2.04	35	0.47	9	0.12	5	0.07	25	0.33	1	0.01
大阪府	8517	27.83	15	0.08	173	0.87	521	2.62	142	0.71	21	0.11	4	0.02	90	0.45	2	0.01
兵庫県	6668	33.51	6	0.05	60	0.47	322	2.50	78	0.60	19	0.15	6	0.05	59	0.46	-	-
奈良県	979	17.80	6	0.17	6	0.17	74	2.11	4	0.11	5	0.14	2	0.06	4	0.11	1	0.03
和歌山県	709	14.18	2	0.06	9	0.29	43	1.39	10	0.32	4	0.13	-	-	21	0.68	1	0.03
鳥取県	178	6.14	1	0.05	34	1.79	67	3.53	4	0.21	4	0.21	-	-	10	0.53	1	0.05
島根県	365	9.61	3	0.13	20	0.87	58	2.52	31	1.35	23	1.00	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	936	11.14	8	0.15	24	0.44	200	3.70	26	0.48	7	0.13	3	0.06	9	0.17	-	-
広島県	1782	15.63	9	0.13	63	0.89	165	2.32	46	0.65	22	0.31	1	0.01	41	0.58	6	0.08
山口県	522	7.35	2	0.04	122	2.44	161	3.22	33	0.66	2	0.04	1	0.02	38	0.76	-	-
徳島県	318	8.37	1	0.04	5	0.21	54	2.25	13	0.54	8	0.33	-	-	13	0.54	-	-
香川県	1145	24.36	3	0.11	20	0.71	69	2.46	7	0.25	7	0.25	-	-	11	0.39	-	-
愛媛県	628	10.30	1	0.03	20	0.54	97	2.62	16	0.43	16	0.43	2	0.05	30	0.81	1	0.03
高知県	798	16.63	2	0.07	19	0.63	45	1.50	26	0.87	6	0.20	-	-	14	0.47	1	0.03
福岡県	7395	37.35	33	0.28	82	0.68	376	3.13	112	0.93	73	0.61	2	0.02	76	0.63	5	0.04
佐賀県	886	22.72	2	0.09	53	2.30	50	2.17	12	0.52	14	0.61	2	0.09	17	0.74	-	-
長崎県	1084	15.49	4	0.09	17	0.39	54	1.23	18	0.41	20	0.45	3	0.07	22	0.50	2	0.05
熊本県	1232	15.40	3	0.06	41	0.85	311	6.48	35	0.73	5	0.10	3	0.06	41	0.85	-	-
大分県	1100	18.97	3	0.08	27	0.75	189	5.25	49	1.36	19	0.53	-	-	28	0.78	-	-
宮崎県	1308	22.17	2	0.06	29	0.81	177	4.92	35	0.97	28	0.78	2	0.06	33	0.92	3	0.08
鹿児島県	653	7.10	2	0.04	61	1.13	118	2.19	48	0.89	16	0.30	1	0.02	24	0.44	1	0.02
沖縄県	1448	24.97	2	0.06	7	0.21	22	0.65	19	0.56	169	4.97	-	-	11	0.32	3	0.09

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年43週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	606	0.20	2569	0.84	13	0.02	275	0.41	4	0.01	14	0.03	171	0.37	10	0.02	563
北海道	52	0.36	113	0.79	-	-	8	0.28	-	-	1	0.04	8	0.35	-	-	39
青森県	5	0.12	10	0.24	-	-	4	0.36	-	-	-	-	9	1.50	-	-	20
岩手県	11	0.28	32	0.80	-	-	3	0.21	-	-	1	0.05	10	0.53	-	-	2
宮城県	1	0.02	39	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1.92	-	-	8
秋田県	8	0.23	30	0.86	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.25	-	-	1
山形県	20	0.67	94	3.13	-	-	4	0.50	-	-	2	0.20	2	0.20	-	-	9
福島県	25	0.52	92	1.92	-	-	2	0.17	-	-	-	-	5	0.71	3	0.43	9
茨城県	12	0.16	62	0.83	2	0.13	11	0.69	-	-	-	-	1	0.08	-	-	1
栃木県	5	0.10	17	0.35	-	-	5	0.42	-	-	-	-	5	0.71	-	-	1
群馬県	3	0.05	44	0.71	-	-	9	0.64	-	-	-	-	6	0.75	-	-	4
埼玉県	16	0.10	151	0.96	2	0.05	18	0.42	-	-	-	-	12	1.33	3	0.33	5
千葉県	20	0.15	165	1.24	4	0.13	10	0.32	-	-	-	-	2	0.22	1	0.11	6
東京都	29	0.20	117	0.79	2	0.05	17	0.44	1	0.04	-	-	5	0.22	2	0.09	12
神奈川県	38	0.18	169	0.82	-	-	22	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	17
新潟県	12	0.20	30	0.49	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-	1	0.08	19
富山県	10	0.34	31	1.07	-	-	4	0.57	-	-	1	0.20	5	1.00	-	-	2
石川県	5	0.17	30	1.03	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20	-	-	8
福井県	28	1.27	90	4.09	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	2	0.08	6	0.25	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	16	0.29	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.18	-	-	1
岐阜県	3	0.06	25	0.47	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	8	0.10	64	0.76	-	-	4	0.20	-	-	-	-	2	0.20	-	-	7
愛知県	21	0.12	74	0.41	2	0.06	2	0.06	-	-	1	0.07	8	0.53	-	-	32
三重県	8	0.18	14	0.31	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.22	-	-	10
滋賀県	1	0.03	12	0.39	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-
京都府	10	0.13	24	0.32	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	23	0.12	165	0.83	-	-	12	0.23	-	-	-	-	16	1.14	-	-	76
兵庫県	10	0.08	28	0.22	-	-	6	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	12
奈良県	4	0.11	61	1.74	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	11	0.35	36	1.16	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.36	-	-	8
鳥取県	3	0.16	4	0.21	-	-	-	-	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	2
島根県	1	0.04	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	21	0.39	-	-	10	0.83	-	-	-	-	2	0.40	-	-	8
広島県	18	0.25	63	0.89	1	0.05	22	1.16	-	-	1	0.05	-	-	-	-	35
山口県	27	0.54	22	0.44	-	-	2	0.22	-	-	-	-	7	0.78	-	-	6
徳島県	2	0.08	17	0.71	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	16	0.57	1	0.04	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛媛県	3	0.08	15	0.41	-	-	3	0.38	-	-	-	-	6	1.00	-	-	2
高知県	41	1.37	20	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	1
福岡県	12	0.10	165	1.38	-	-	14	0.54	-	-	-	-	1	0.07	-	-	23
佐賀県	1	0.04	38	1.65	-	-	2	0.50	-	-	-	-	4	0.67	-	-	19
長崎県	2	0.05	103	2.34	-	-	2	0.25	-	-	2	0.17	2	0.17	-	-	9
熊本県	17	0.35	57	1.19	-	-	12	1.33	-	-	1	0.07	2	0.13	-	-	12
大分県	7	0.19	58	1.61	-	-	4	0.80	-	-	-	-	1	0.09	-	-	9
宮崎県	6	0.17	45	1.25	-	-	9	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	47
鹿児島県	19	0.35	33	0.61	-	-	9	1.29	-	-	-	-	1	0.08	-	-	45
沖縄県	14	0.41	80	2.35	-	-	12	1.20	1	0.14	1	0.14	12	1.71	-	-	3

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年43週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年43週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第43号 2009年11月9日発行

発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。